



外来魚回収用いけすをご利用下さい！

ブラックバス&ブルーギル

ひなち湖には多くの魚が生息しており、その中にはニュース等で度々話題になる外来魚のブラックバスやブルーギルもいます。

ブラックバスとブルーギルは外来生物法により生体の移動が規制されています。また、三重県自然環境保全条例においても、外来種をみだりに放つことは禁止されています。

外来魚を釣った場合には湖にリリースせず、ひなち湖内に設置している回収用いけすに投入されるようお願いします。

なお、ひなち湖内の一部には立入禁止区域（右図の斜線部分）が設定されていますので、禁止区域内には立ち入らないようお願いします。



ブラックバス (オオクチバス/コクチバス)
スズキ目サンフィッシュ科オオクチバス属
北米原産、体長約 40 cm



ブルーギル
スズキ目サンフィッシュ科ブルーギル属
北米原産、体長約 30 cm

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律 (通称：外来生物法)

ブラックバス (オオクチバス/コクチバス)、ブルーギルは平成 17 年政令第 169 号にて、特定外来生物の第一次指定種とされています。

○ 第二章 第四条

特定外来生物は、飼養等をしてはならない。

「飼養」とは、生きている個体を飼育、保管、運搬することを言います。

第四条に違反した者は…

○ 第六章 第三十二条

三年以下の懲役若しくは三百万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。

※ 駆除のために回収用生け簀に運ぶことや、メタものを運ぶことは規制の対象になりません。

釣ったからには...食べてみる?!

日本ではあまり馴染みがありませんが、ブラックバスもブルーギルも、原産地の北米では食卓に上る魚。きちんと処理をすれば、美味しく食べられます。ポイントは皮をしっかりと取り除くこと。どちらも分類上はスズキ目だけあって白身で淡泊な味。フライやムニエル、バター焼き等の油を使った料理に合うそうです。滋賀県立琵琶湖博物館や、大津 SA 等でも美味しいブラックバス料理を食べることができるのですが、自分で釣った魚を食べれば **Eco** (エコロジー & エコノミー) ですね。
※ ただし、食べるためであっても、生体を運ぶのは規制対象となりますのでご注意ください。



貯水池の流木処理を行いました

9月の台風18号によって、貯水池に大量の流木や塵芥が流れ着きました。これらの流木の収集と陸揚げ作業を実施しました。陸揚げした流木は、玉切りして薪にしたり、チップにしてマルチング材として利用します。



マルチング材としての使用

陸揚げした流木の山

流木の陸揚げ作業の様子

台風後の貯水池の流木

レリーフを清掃しました



国道から比奈知ダムへ向かう道路両脇にあるレリーフを清掃しました。可愛い図柄が見やすくなりました。是非ご覧下さい。

◎ この新聞は、『少しでも環境に優しくできることはないか』と考え、『できることからやってみよう!!』と、私達が取り組んでいることを自己啓発も兼ねて皆さまに紹介しています◎



独立行政法人 水資源機構 比奈知ダム管理所

〒518-0412 三重県名張市上比奈知字熊走り1706
【TEL】0595-68-7111 【FAX】0595-68-7114



【PC】 <http://www.water.go.jp>

【携帯】 <http://kokoten.com/u1/hinachidam/>

※ご利用には通信料が必要です